

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

# 野上川の風

発 行  
二部地区活性化推進機構

編 集  
総 務 部 会

事 務 局

T689-4233  
日野郡溝口町二部1562-1  
二 部 公 民 館 内  
TEL・FAX 0859-62-7159



●Aコープみぞくち 地産地消いちば

地産地消のねがい

この土地で育った

米や 野菜を食べて

その土地の 子供や住民が

健康と 元気をもらう

幼い頃に 覚えた味は

成人しても 忘れない

鮭が故郷を 忘れぬように

人もこの地に 戻ってほしい

地産地消と食育は

忘れてならない 農の道

小学生ソバ打ち

いま安全で安心な、地産地消の直売所が増えていく。JA支所の資料によると、昨年中に扱った女性会朝市が四五〇万円、Aコープ産直コーナーで八七〇万円、日吉津のアスパルでは何と三億円、これはまだまだ伸びそうだ。



# 楽しく住みよい 郷土づくりをめざして！

●日野農業改良普及所 副主幹 林原 淳美

## ▼集落活動拠点施設の完成

平成十四年度に福岡三区、平成十五年間に間地の活性化施設が完成しました。福岡三区の施設名は”つどい”です。

研修室、調理実習室、伝統技術実習室が設置され、そばの製粉機械一式と豆腐の加工機器が整備されています。またこの施設の近くに炭焼き窯が作られ、平成十五年八月三十一日には、早速自前の炭を使つてのバーベキューで完成祝いが行われました。

そばの製粉、そば打ち、豆腐づくりの活動が行われるようになり、一月には福岡分校の体験学習で、豆腐づくりを教えられました。豆乳を飲んだり、おぼろ豆腐を食べておいしいという児童に、施設の活用方法の広がりと共に、



分校児童と豆腐づくり

地産地消の意義を改めて感じた一時であり、豆腐が出来上がった時には、児童から「ワァオー」と歓声があがりました。

間地の施設名は”やまじ”で、一月に竣工式が行われたばかりです。和室、研修室、台所が設置され、加工場も計画されています。加工機器

の設置は平成十六年度の事業になりませんが、豆腐とみそ作りの機器が予定されています。研修室には、パソコン、テレビ、マッサージ機、トレーニング機も設置しており、各年代層がより多く集う元氣な集落づくりを目指しております。

## ▼完成するまでの取り組み

集落の中で話し合いがよく行われていますか？過疎や高齢化で愚痴ばかり多くなっていますか？女性や子供たちの声が聞こえていますか？

最近よく”ワークシヨップ”という言葉が使われますが、直訳すれば「問題解決のための研究集会」ということでしょうか。

施設を造る場合だけでなく、どうしても自分たちの集落が住みやすく楽しくなるか、なるべく多くの意見を引き出す事が大切なのです。リーダーとな



間地“やまじ”全景

る人は一人ではなく数人がしっかりと意識をもつて取り組みむべく体制を作り出したほうが進めやすいでしょう。その時はとても大変だと思ってしまうが、その

過程で協調やら夢などが広がり、集落への愛着が湧いてくれば大成功です。

集落によって集会の濃淡はあるでしょうが、それによってその後の施設の活用にも創意工夫が盛り込まれることでしょう。

## ▼これから

はじめにも少し書きましたが、二集落ともいろいろな取り組みがされています。

福岡三区では大豆の栽培、加工研究を、間地ではきのこ鑑定と食べる会、魚の掴み取り大会、山野草の栽培です。

活性化施設を拠点として自分たちが楽しむとともに、誇りをもって情報発信し周辺地域はもちろん外部との交流活動を広げていってほしいと思います。

しかしこれらの施設が完成するまではずいぶん忙しい思いもし、大変だっただろうということも想像できます。どうぞ無理をしないで、活気のある活動を続けられるよう応援します。

## 昔の紹介と再現

### 二部公民館のたたらまつり

●たたらまつり特別実行委員

野口 由枝

たたらまつりでは、毎年二階には郷土色のあるものを展示してきました。今年のテーマは「故伊達義男コレクション」と「苦しかった時代の衣と食」に決まり、私たち七名の女性で衣と食を受け持つことになりました。昭和のはじめ頃は農村が非常に不景氣な時代で、衣類も食べものも質素に金を使わぬよう心がけたようです。衣類は手分けして古いものをさがしました。昔のものを大事に保存してある家もあり、普段着・仕事着その他かなり揃いました。

人形のボデーに細工して、衣装を着させたものを何体も作りました。食べ物もいろいろ工夫して代用食もこしらえました。くず米で「ヤキモチ」を作ることにになり、これはすぐに出来ましたが困ったのはオヤツの「焼き米」です。数日水に浸けたものを煎って粉をはいで作ったのですが、食べてみるとどうも昔の味がしません。あゝでもないこうでもない、いろいろ相談



## 二部地区の皆さんありがとう

### 道路・河川クリーン作戦の総括

#### ▽軌道に乗ったボランティア

平成十四年十一月最初の一斉清掃は部落代表者の御協力も頂き多数の方の参加のもとで成功裏に終了しました。

明けて平成十五年四月には、鳥取県知事から「道路河川愛護団体」の登録証を受領しました。続いて二年日からは年二回実施の事業計画に基づいて、七月下旬と十二月月上旬にそれぞれ実行に移し大いなる成果をあげることができました。

地域住民の皆様の環境を美しく維持することへの深いご理解の賜ものと厚くお礼を申し上げます。殊に子供連れの多世代参加は、児童教育の上でも大変有意義と思われまます。なぜ大人はこんなにポイ捨てをするのかと成人してもきつと忘れないでしょう。

実施回数が進むにつれ収集ごみの量が減ってきたのも嬉しい現象です。また県土整備局（旧根雨土木事務所）や溝口町土木課の公務員各位の応援もあり、二回の出役者は延べ六一〇人を数えました。盛大なこのクリーン作戦のボランティア事業が軌道に乗ってきたことと感謝に耐えません。

今後ともご協力のほどをお願い致します。

#### ▽課題を残した粗大ゴミ

ところで予期しなかった問題が福岡



河川ヨシ刈りボランティア

班で起りました。それは矢倉峠の迂回している人目につきにくい旧道に多くの粗大ゴミが放置されていた事です。軽トラ一台に乗らない程のテレビ・洗濯機・冷蔵庫・古タイヤ等です。役場に頼んで何とか処理はしましたが本来処分経費も必要な難物です。

電気製品などの処分が面倒になった今日、多分他地区の者の仕事と思われるますが、啓蒙と罰則の両面戦略が必要です。行政からの支援も願いたいものです。

#### ▽はじめて取り組んだ

##### 河川のヨシ刈りについて

「地域が育む河川環境保全事業」という県の新規事業が発足しました。簡単に言えば、川の雑草（主にヨシ）を刈取り撤去する事業で清流を守る重要な作業です。この事業を主管する県土整備局から郡内十数か所を想定して、この作業の一部を地域の集落等に委託するよう働きかけがありました。一時畑池部落での受託の動きもありました

が成就せず、結局わが活性化組織に鉢が廻ってきました。

刈取り面積五〇〇〇㎡以上で助成経費二〇万円の条件で請けることを決定しました。二部保育園前の白濁橋から上流へ高橋の下までの約一〇〇〇米区間です。刈り払い班と結束集草班に分けてボランティアの募集をしました。清掃ボランティア同様多くの皆様の参加を頂き男性三八人、女性一七人の協力で心配した作業事故もなく所期の目的を果たすことができました。

紙上からですが、特別会計で処理した会計報告を掲載して、お礼にかえる次第です。

なおこの事業は、今後継続されるようですので場所を替え、きれいな野上川の環境改善に協力しましょう。

### 河川ヨシ刈り特別会計報告

|              |  |          |
|--------------|--|----------|
| 収入の部         |  | 二〇〇、〇〇〇円 |
| 鳥取県交付金       |  |          |
| 支出の部         |  |          |
| 人件費          |  | 一〇八、五〇〇円 |
| 打合せ          |  | 六、〇〇〇円   |
| 刈り払い班        |  |          |
| 内訳           |  |          |
| （三七七人）       |  | 五五、〇〇〇円  |
| 桔梗班（二八人）     |  | 四五、〇〇〇円  |
| 保険料          |  | 五、五一〇円   |
| 資材費          |  | 七、四四五円   |
| 混合油          |  | 六、〇八五円   |
| チップソー        |  | 六二、一六〇円  |
| 雑費（写真・郵券代ほか） |  | 四、二〇〇円   |
| 計            |  | 二〇〇、〇〇〇円 |
|              |  | 二〇〇、〇〇〇円 |



たたらまつり展示（昔の衣と食）

して作り直したのです。何度も集まって準備を重ね、いよいよ当日を迎えました。天候にも恵まれ初日から出足がよく、大勢の方に見てもらいました。特に年のいった方々には、なつかしく見ていただいたようです。「ヤキモチ」と「焼き米」は大好評で、皆さんにも味をみてもらい、喜んでいただきました。衣料切符の实物も、はじめて見た人がほとんどだったでしょう。昔の写真も懐かしく見る人も多かったようです。私たちもずいぶん心配をしましたが、おかげ様で好評をいただいたようで何よりのことと嬉しく思っております。

注▽毎年のたたらまつりには、活性化機構が全面的な協力をしています



## 二部谷出身者からの提言

### 歴史は人生行路の教科書

歴史は先人の歩いた足跡である。先人の足跡は、現代人にも最良の教科書と思われる。

人それぞれの考え方で、教科書を良い手本にしようと努める人、また あまり参考にしようとも思わない人もあるだろう。

それは先人の歴史を自分の人生行路をする上の鏡として観る人と、興味本意のドラマとして受けとる人との違いかも知れない。

先人の足跡に学びながら人生行路の旅をした人と、先人の足跡を観ないで旅をした人との違いは、人生の終わり頃になって、それぞれ自分で否応なく反省させられる時に分かってくるものではないだろうか。

溝口

南波睦人

## 二部谷の四季写真コンテスト募集

### 「二部谷の四季写真コンテスト」募集

本会ではこのたび、次の募集要領でコンテストを計画しました。地域の皆さんそして知己の方がたくさん応募下さいますようご案内します。

#### コンテスト募集要領

##### \*目的

伝えたいふるさと二部谷の自慢できる四季の風景写真を選抜し、二部地区振興の一助として活用します。

##### \*募集作品

概ね五年以内に撮影した未発表のものとし、原則風景写真とします。

##### \*応募期間

平成十六年十月一日～十二月二十日

##### \*作品形態

サイズはキャビネ版（二し含む）以上 四つ切り（ワイド四つ切り含む）まで。

##### \*応募点数

一人何点でも可。

##### \*応募資格

一切問いません。

##### \*応募方法

作品には所定の事項（題名・撮影期日・場所・必要に応じ自由コメント応募者住所氏名）を記載した応募票を添えて事務局（二部公民館）に提出下さい。

## 活動日誌メモ 平成十五年

（月日） （内容）

平成十五年

七、三二 土木施設愛護ボランティア

団体活動推進協議会

（日野総合事務所）

八、二七 環境・ボランティア

合同部会

九、四 会報編集委員会

九、一〇 会報「野上川の風」

第六号発行配布

一〇、五 野上川ヨシ刈りボランティア

ティア

一二 町民運動会二部地区大会

一二 福祉ボランティア

（花回廊）

一一、一 趣味と生きがい部会

一九 旧二部村郷土調査

復刻打合せと陳情

三〇 小学生ソバ打ち体験

二二、七 道路・河川クリーン作戦

（一斉清掃）

二五 たたらまつり実行委員会

二七 二部谷写真コンテスト

打合せ

平成十六年

一、一〇 役員会

一四 たたらまつり実行委員会

二〇 旧二部村郷土調査

特別委員会

二、七 会報編集委員会

一〇 たたらまつり実行委員会

二、一五 たたらまつり準備

二、二三 たたらまつり

## あとがき

この冬は、暖冬だとの予報でしたが、年末から新年にかけて予想外の積雪に見舞われました。

やっと二月中旬頃から春の気配が感じられるようになってきました。今年度から、会報も年二回の発行となりましたのでみなさんのご意見等も、どしどしお寄せ頂きたいと思います。

二部地区のみなさんのご協力をよろしくお願い致します。

